

集う、創る、叶える、ふくしまで。



福島
イノベーション
コースト
構想推進機構

福島イノベーション・コースト構想 オーダーメイド視察のご案内

福島イノベーション・コースト構想推進機構（イノベ機構）では、福島イノベーション・コースト構想（イノベ構想）の拠点施設や地域の視察のプログラムづくりや日程調整の支援に関するご相談を受け付けております。視察をご検討の際は、イノベ機構コンシェルジュにお気軽にお問合せください。

イノベ構想とは

東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、当該地域の新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。廃炉、ロボット、エネルギー、農林水産等の分野におけるプロジェクトの具体化を進めるとともに、産業集積や人材育成、交流人口の拡大等に取り組んでいます。

こんな目的におすすめ

社内の人材育成の充実

【社員育成】

◇課題解決型の研修

【現地で地域と協働活動】

◇CSRの観点で実施

新たな事業展開

【世界に類を見ない実証研究の拠点を視察】

- ◇企業としての新たな事業展開
- ◇拠点での実証・社内イベントの実施

【企業進出】

- ◇イノベ地域に企業の拠点の設置（サテライトオフィス）
- ◇イノベ地域に企業進出

その他の展開

【コンベンション・会議等の開催】

- ◇大会の現地開催の検討

【様々な形で福島への関与】

- ◇国内外への情報の発信
- ◇イベント等での福島のPR

1. 対象：イノベ地域において上記に例示してあるような活動の展開を目的としている企業、団体、大学等高等教育機関。
2. 費用：視察にともなう交通費、宿泊・飲食費、現地視察受入れ団体への謝金等の実費はご負担ください。イノベ構想の説明およびコーディネート、現地アテンド、視察調整等に関わるイノベ機構職員・コンシェルジュの費用はかかりません。
3. その他：旅行業法にともなう旅行業（募集型企画旅行、受注型企画旅行及び手配旅行）に該当する事務は当機構では取り扱いができないため、別途旅行業登録事業者への相談が必要となります。

※イノベ地域とは、「いわき市、相馬市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村」の15市町村をいいます。

モデルルート①

＜イノベ構想と復興状況を視察する事例＞

(1泊2日の視察の場合)

イノベ構想における拠点施設等を巡り、地域の現状や構想への取り組みなどについて視察

＜1日目＞

郡山駅(10:00出発)＝【葛尾村】かつらお胡蝶蘭合同会社＝【川内村】(昼食)＝【富岡町】東京電力
廃炉資料館＝【榑葉町、広野町】Jヴィレッジ＝【双葉郡内】宿泊施設(泊)

＜2日目＞

宿泊施設＝【富岡町】夜ノ森地区＝国道6号線(一部帰還困難区域)＝【浪江町】大平山霊園
＝【浪江町】請戸小学校(津波で被災)＝【浪江町】福島水素エネルギー研究フィールド＝【南相馬市】福島
ロボットテストフィールド＝【相馬市】(昼食)＝【相馬市】JAPEX相馬LNG基地、FGP福島天然ガス発電所＝
【新地町】スマートコミュニティ＝福島駅(18:00到着)

モデルルート②

＜企業視察等を中心としたルート事例＞

(1泊2日の視察の場合)

福島県浜通り地域等15市町村の産業用地、生活環境、優遇制度等を紹介しながら、復興が進み、立地環境が大きく向上する現状を視察

＜1日目＞

富岡駅(11:15出発)＝【富岡町】(昼食)＝【富岡町】富岡産業団地＝【双葉町】中野地区復興拠点
＝【榑葉町、広野町】Jヴィレッジ＝【双葉郡内】宿泊施設(泊)

＜2日目＞

宿泊施設＝【榑葉町】JAEA榑葉遠隔技術開発センター＝【南相馬市】福島ロボットテストフィールド＝
【南相馬市】(昼食)＝立地企業2～3社訪問＝福島駅(18:00到着)

コンテンツ紹介

福島ロボット テストフィールド

陸海空フィールドロボットの
研究開発・実証試験・性能
評価・操作訓練が行える、
世界に類を見ない一大研
究開発拠点。南相馬市と
浪江町に整備中で、2019
年度末全面開所予定。



JAEA榑葉遠隔技術 開発センター

福島第一原子力発電所の
廃炉作業を推進するために、
遠隔操作機器の開発・実
証実験を行う施設。原子炉
建屋内をVR体験できる設
備の備える。



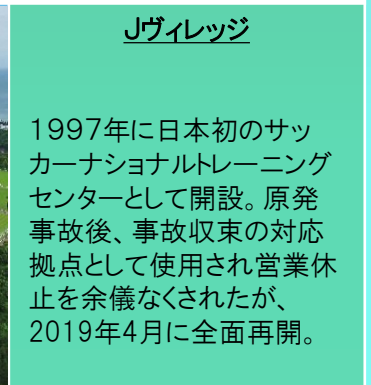
福島水素エネルギー 研究フィールド

浪江町の棚塩産業団地に
整備が進められている日本
最大級の水素製造拠点。
2020年度に実証運用され
製造された水素は、東京オ
リンピック・パラリンピックを始め、様々な場面で活用が見
込まれている。



Jヴィレッジ

1997年に日本初のサッ
カーナショナルトレーニング
センターとして開設。原発
事故後、事故収束の対応
拠点として使用され営業休
止を余儀なくされたが、
2019年4月に全面再開。



お問合せ

公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構

コーポレート部門交流促進部 担当: 支倉、二階堂

〒960-8043 福島県福島市中町1-19中町ビル6階

TEL024-581-6881・6882 FAX024-581-6898 <https://www.fipo.or.jp/>

